

2010 Vol.4 特集「意欲を引き出す『家庭学習』指導」へのご意見

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

*「VIEW21」中学版のバックナンバーは「Benesse教育研究開発センター」ウェブサイト(<http://benesse.jp/berd/>)でご覧いただけます。

◎「意欲を引き出す『家庭学習』指導」は本校の課題の一つであり、今回の特集は参考になりました。特に、国立教育政策研究所・山森光陽先生の話は、課題を整理し、どう解決・改善につなげるか、取り組みの視点が明確に紹介されていました。[千葉県／K中学校／O・H]

◎山森先生のインタビューで「1人でする宿題にこそ、個人差を考慮した題材を渡す必要がある」という言葉が、今までの一斉課題を見直すことに役立ちました。
[埼玉県／K中学校／O・H]

◎山森先生の話にあった「可処分時間」の考え方に非常に共感しました。他教科と調整をしないまま、教師の視点だけで宿題を出すことがあります。可処分時間をしっかり考え、現実的な家庭学習課題を出す必要があると思いました。
[島根県／M中学校／T・Y]

◎家庭学習の習慣化は、全国どの中学校でも悩み苦しむ課題で、まさにアイデア勝負です。登米市立東和中学校が「朝の学び合い」を設け、時間を確保している事例は、本校でも取り入れたいと思いました。ただ、本校は極小規模校であるため、限界があると思います。1クラス5人以下の学校では成立しにくいでしょう。まだ工夫が必要です。
[鹿児島県／S中学校／S・M]

◎登米市立東和中学校の「サイクル学習」は、年間計画にきちんと位置付けられ、課題内容が三つに分けられていて大変参考になりました。また、どの事例も、自校

化の観点が、それぞれ分かりやすくまとめられていた点がよかったです。
[茨城県／Y中学校／K・H]

◎常陸太田市立北中学校の「学び方の手引」が授業用と家庭学習用に分けられている点を、本校でも取り入れたいです。特に家庭学習の大切さを具体的な形で生徒や保護者に伝えられているかを見直し、改善する必要があると思いました。
[大阪府／T中学校／Y・A]

◎岡山市立岡北中学校で、「小学校と連携して予習を大事にする」という点がとても新鮮でした。また、小学校との連携で「教えて考えさせる授業」に取り組んでいる点にも感心しました。学力保障は、分からない・間違えた部分の補充に目が行きがちですが、予習をすると1時間の授業の質が変わり、授業の中身がよじつめると感じました。
[大分県／N中学校／K・Y]

◎南会津町立檜沢中学校のeラーニングは画期的な取り組みで明確な成果もあり、興味深く読みました。しかし、記事だけでは具体的なイメージを持ちにくかったのが残念です。
[秋田県／K中学校／K・H]

◎小規模校の事例が多く、中・大規模校では応用が難しいのではないかと感じる取り組みもありました。ただ、どの事例も専門家が「自校化の視点」を示していたので、参考にすべき点の分かりやすさでまとめられていたよかったです。
[富山県／F中学校／O・H]

お知らせ

文部科学省が**震災地の学校と提供者を結ぶ**マッチングサイトを開設しています

「東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト」<http://manabishien.mext.go.jp/>

編集後記

社会が変化する中、人材、モノ、予算のすべてが限られた条件下で、公立中学校がすべての子どもに学力と進路を保障し続けるためには？——この課題意識から、今号の特集企画は出発しました。企画や取材を通して、全国の先生方が、それぞれのご経験と想いに基づき、さまざまな角度から未来を見据えた学校づくりをなさっていることを実感しました。こうした取り組みが広く共有され、自校化されることに『VIEW21』をお役立ていただければ幸いです。今年度もよろしく願い申し上げます。(久保木)

VIEW21 中学版 2011 Vol.1

2011年4月28日発行／通巻第309号

発行人 新井健一
編集人 原茂
発行所 (株)ベネッセコーポレーション
Benesse教育研究開発センター
印刷製本 (株)ビーヴィオコーポレーション
編集協力 (有)ペンタコ
執筆協力 二宮良太、山口横治
撮影協力 荒川潤、川上一生、南弘幸

◎お問い合わせ先

VIEW21編集部

電話 **03-5320-1287**〒163-0411東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビルディング13階

©Benesse Corporation 2011